公民時報
福岡県田川郡
発行所　方城町公民館
編集人　安
（通第5
冷牟田印刷

中学校に演習林なる

〝緑いっぱい故里の山を〟

真剣な植付けに　ミゴト九割九分の根がつく

輝きわたる七月の空に、一段と青く鎧える故里の山々、そこには今や町をあげての造林事業が営々よいとなまれている。

そして、島帽子山の山腹には、方城中学校演習林が、生徒、職員の真剣な作業が実を結んで、一町二反、杉、桧など八、一九〇本が九割九分の活着という見事な成績でスクくとのびているのだ。かえりみるに、いろいろな曲折を経ながら遂に地元部落と演習林用地借入契約を締結したのは昭和三十二年二月七日のことであった。

実測、地拵え、そして植付け、と、目まぐるしい活動が始まった。

そして二月二十八日、折からの上天気に、現地の長浦に於て、盛んな〝植樹祭〟が催された。

この日午前十時、続々と登った生徒代表二五〇人を前に、造林事業による郷土建設の提唱者、倉石町長から、じゅんじゅんと植林の遥か眼下に母校の校庭を望みながら、町長の話に聞き入る少年少女の胸に、国土と郷土への愛情が深く深く波うつのであった。

山本校長以下十一人の先生が並び、又、教育委員、町議会議員、そして、町当局からは、野村長、助役教育長、経済課長ら係が加わり、式ののち一せいに植えつけ作業をはじめた。

ヘンポンとひるがえる中学生徒の大旗の下に、山腹のあちこちで歓声が上り、和やかにも熱心な作業ぶり。殊に藤員さん達が三千本四十も植えたのちから中学生たちといっしょに、エイ、エイ声で作業を進める様子は、まことにホホえましい風景であり、輝やかしい方城町の明日が、山の空気をふるわせるようであった。

（植　樹　祭）倉石町長の話をきく中学生

新生活運動は時間の励行から

一分館一目標をきめましょう

昭和三十二年度社会教育事業計画」が、五月二十二日の教育委員会できまりました。三月頃から、いろんな会合を重ね、検討を重ねて、公民館運営審議会、分館長研修会、社教青婦人関係団体連絡協議会などを経てきましたものです。

新生活運動をおし進めるために

イ、町としての合言葉

産業方城は植林から

ロ、「文化方城は産業から

ハ、「新生活運動は時間の励行から」の二つをあげました。

※結婚改善運動は、今まで通りにつづける。

茶町全体としての共通目標は、この「産業振興」と「時間励行」にしぼりたい地域、部落の実情に応じて、夫々自主的に話し合ってきめる。

ロ、地区の目標

1弁城区「官行造林の達成」

2杜宅区「時間の励行」

※「伊方区」「畑区」は目下話し合い中

ハ、分館の目標

上弁城　①映画教室を通じての社会道徳の昂揚

②時間の励行

③冠婚葬祭の改善

①合理的な生活

②時間の励行

新町　①出席率の向上

②時間の励行

久六　①遺族愛護

②交通道徳

宝珠　①環境衛生

②生活増強

迫　長浦　①結婚改善

産業振興

見六　広谷　①時間の励行

②畝ハエのぼう滅

③生産技術の向上

後谷　①時間の励行

②環境衛生

犬星　環境衛生

矢久保　生活改善

一区　時間励行

二区　家計簿による生活の合理化

三区　子供会の育成

四区　時間の励行

五区　時間の励行

一分館一目標＝まだきまっていない所は話し合いを始めて下さい。

◎きまったところは、これで安心せず一歩一歩おし進めよう。

農業委員選挙

無投票当選（13人）うち再選は三人だけ

七月十六日、選挙委員の届出に対し七月十四日、候補者一名が辞退されたため十六日午前十時から役場に於て選挙委員会を開き審査の結果候補者十二名の無投票当選が決定し、同日当選証書を交付致しました。当選者氏名は次の通り

	届出順	候補者名	住所	年令	新前の別
1	1	原田　順治	春田	56	新
2	2	長尾　為彦	見六	57	新
3	3	香月美佐男	迫	56	新
4	4	竹下　末広	中古門	43	新
6	6	田中　保高	浄万寺	32	新
7	7	仲村　利積	西古門	43	新
8	8	田丸　利丸	東古門	37	新
9	9	高崎　勝	野添	34	前
10	10	渡　信吉	上弁城	49	新
11	11	永末　国夫	宝珠	35	新
12	12	倉石　清治	新門	40	新
13	13	早川　光義	新町	60	前

〝生きた道徳教育の場に〟

ちなみに、方城中学校では「道徳教育」の振興を目指して、早くから努力を続けてきたが、郷土の大事業「造林計画」とも合致し、体育上、情操教育上、そして、又「生きた道徳教育」として「演習林」の造成を思い立ち、之を、六三制拾周年の記念事業として実施することになった。

『私たちは卒業すれば、他の土地に行くかも知れません。でも、自分の植えた木が大きくなったとき、ふるさとの山を思い出すでしょう」

又、せっせと手を動かしながら教人の男生徒たちは、次のように話し合っていた。

「僕たちが大きくなった時、この苗も、ヨウヨウとした大木になっているんだあァ」と。

地元の人々は、ここに立派な「山」実を結ぶことを心から願っているのである。

地を、中学生たちのために割いた一上に、一百一馬、三馬の、立派な「山」がたち、そしてそれが、教育の

巡回映画教室だより

〝見るだけ〟から〝映画の教室〟へ

七月の映画

① 赤ちゃん特盛（日活作品）
② 朝日ニュース
③ 私の大地（文化）

鑑賞の心得第五喜

① 定刻前五分に集まりましょう
② 履物をよく整頓しましょう
③ 幼児や老人をいたわり前の席にすわらせましょう
④ 上映中は私語をやめましょう
⑤ 観たあとで映画のどこが良かったかを考え話し合いましょう

※分館長さん初め役員の方々は、折角の映画教室が十分効果を収められるよう必ず立会の上、責任を持って「事前準備」「進行」「後片づけ」など御指導下さい。

※「おしらせ」や「話し合い」の場に出来る丈利用して下さい。

方城山名考

桑野　通

方城の山々は、一般に福智山岳（実は筑紫山脈中の福智山塊）と呼ばれる山体の、中央部分があたる様です。福智山岳は断層で出来た山で、東側は谷が深く、小倉市の旧東谷村や旧採銅所があり、其の西側の谷に方城町をはじめ赤池町や田川市の旧金川村等があるわけです。所々に、花崗岩の貫入、水成岩の中に溶岩がつきぬいて来る状態を言います）があって、鉄山石や磁鉄化鉄などを産しており、広谷の裏の竜ケ鼻の下には、昔の銅山のあとものこっております。北側の福智山が一番高く、南へいくに従って段々低くなり、五徳谷をへだて、香春岳と対しているのです。

山麓附近の人々を除いては、方城の人は大字弁城側の山を弁城山、伊方側を畑の山と呼んでおり、一つ一つの山の名は使っていない様です。これは地図にも山名がなく、又一般に知られていないところからでしょう。しかし略に尾根にも峠にも立派な名がありますが、山民の慣様これからは植林その他の用で山に出かける機会が多いでしょうから、これから山の名ぐらいは使っていただきたいものと思い、簡単にご紹介いたしますと、下の見取図の通りです。

では、どうして、この様な名がつけられたのでしょう。昔のこととあり、詳かではありません。

次に筆者の考えた事を書いて見ましょう。

平治越　この様な峠の名は各地でも見られ（例・九重山の平治越）お隣りの岩屋に主家谷と言うのがあります。今は田川市の市民観光地として「ロマンスが丘」などとシャレた名前になっておりますが、後程紹介致します。「平家屋敷」と併せて考えれば、平家谷・平治越・平家屋敷、其の昔、源義経が平家を討つ為の時、平家の残党に源氏の追求の手を逃がれるべく、峠を越えてこの附近に落人の身を隠したからではないでしょうか。その様な事柄を考えると、長浦や広谷から、その子孫が名乗り出て来そうな気のする地名です。

竜ケ鼻　これに似た山名ある各地にあり（例・近い所で平尾台の雨師の竜ケ鼻）岩石が一見鼻様な形で突き出た所や、絶壁をなして、人々に近づきたいとところを一般にこう呼んでいます。登山家には最も好ましい所で、良くロック・クライミング（岩登り）の場所として喜ばれています。

広谷山　平凡な山名で、別にこれという様な理由もなく、この山名は広谷山と云う位で、頂上から中腹まで草と小灌木に覆われ、山麓から中腹にかけて可成りの立木を有しております。

島帽子　島帽子に似ているので名付けたのでしょう。阿蘇山の「島帽子」とは、山にも島帽子峠というのがあります。この山はほとんどが草地で、立木は非常に少く、現在方城町の一大事業としての植林事業が行われているのもこの附近からです。島帽子の中腹西側に松の木が七、八本立っている所があります。日蹟など広谷―紅葉ガ滝―竜ケ鼻としてこの松の木附近で昼寝を取る様な計画のハイキングは、風景も良く、ぜひすすめたいものです。

焼立坊主　この山名は実に面白く、筆者など名地の山歩きをしましても珍しいものの一つです。畑の人らしく茶目気があり、昔から山焼きをするとき一番最初に火入れをしたのでこの名ができたのだろうとのことです。とにかく歴史的な事柄や動物にちなんだ名前の多い中に、現実的な立場から〝ズバリ〟山名にした事は、愉快な事ですね。

赤牟田山　この山は五万分の一の地図には名が出ていませんが、方城の山々の中では赤池よりの大多尾を除き一番高く、山容も美しく、そして七九一米余の三角点もあります。福岡山岳会員の名山岳会で、赤牟田山と名づけ、福智山から牛斬山への縦走には、必ずと言って良いくらい休憩して、あたりの風景を楽しむ地点です。「牟田」と言う語源については、はっきりは言えませんが、ふつう平坦な地点に使って「三辻」とか「分岐点」とか「十字路」という所につかわれています。

福智に次いで展望がよく、響上、京都郡を始め、瀬戸内海、山口県、小倉市、玄界灘、其の他県内の主要山岳を一望の中に眺める事が出来ます。まして地元方城町の俯瞰は殊のほか美しく、方城炭業所の出来ます。まして地元方城町の俯瞰は殊のほか美しく、方城炭業所の美しい社宅街の軒並をはじめ、町内の大部分の家々が手に取る様に眺められ、一大パノラマを見る様です。

又この地は古くから山伏の修業路であり、山頂には塚があって、二千才前の若い山伏が自ら掘りの生来と水で苦業の最中、赤牟田山迄たどりついて精魂尽き果て、山伏の足跡にたどりついて精魂尽き果て、山伏の足跡にたどりついて精魂尽き果て、山伏の足跡にた

昭和32年度方城町社会教育事業計画

「緑の山」で「豊かな町」を
「アタマの入れかえ」で「たのしい暮しを」
いつでも、どこでも
「話し合い」「べんきょう」

「文化」文化、いっ何よりも、くらしを豊かにすることが根本。

「頭」が作りかえられ「ハラ」がしたり、子供を遠足に連れて行っても、お互いの「フトコロ」が寒くては、どうにもならない。

結婚改善や、家計簿づけによって、生活を合理的に改善して、いろんなムダをはぶく。さらに「出る金」をおさえるだけでなく、積極的に「入る金」をふやすために、いろいろ研究する。産業振興をはかる。つまり家づくり・町づくり・産業・文化づくりとなるとどうしても、私たちの頭が改善されねば、又いくらかはヨリがもどってしまう。

たくさん経費をかけて、カマドを改善しても家も豊かになれば、もう問題はないだろう。

「人が悪ければ、いくら「もの」が有り余っても、決して住みよいくらしは出来ないだろう。

それよりも「フトコロ」がらくになるためには、やはり「人」の……

「頭」が作りかえられ「ハラ」が古い昔のままでは世話やきが「有事」しなければ、公民館や婦人会、青年団、PTAなどの団体が「社会教育」の活動をつづけて、生活を合理的に改善して、いろんなムダをはぶく。さらに「頭の入れかえ」「人づくり」が、いちばんのネライ。

結婚改善もただ経費をへらしたり制限するだけでなく、私たちの頭が改善されねば、又いくらかはヨリがもどってしまう。

たくさん経費をかけて、カマドを改善

社会教育振興のため、左の通り研究分館を指定する

❶新生活運動の推進に関する研究につき指定するもの
イ、名称　広谷分館
ロ、題目　産業振興を基礎とした住みよい部落の建設
ハ、研究発表の時期　昭和三十二年三月
ニ、理由　山間地の実情に適応した産業研究活動を基礎として、成人、婦人、青少年男女が、分館長を中心として、部落ぐるみの、多面的改善運動に立ち上ろうとしており、今後の発展が期待される。

❷分館運営の研究につき指定するもの
イ、名称　宝珠分館
ロ、題目　生活の合理化を目指す分館運営
ハ、研究発表の時期　昭和三十三年三月
ニ、理由　婦人、青年のまとまりもよく、生活の合理化による、明るい部落の建設を通じて、分館運営の組織強化をはかる。

昭和三十二年五月一日三日
方城町教育委員会

堂々の入場式
ハリキル応援団
第一回婦人会体育祭

四月二十九日午前九時、はじめての婦人会体育祭を祝福するかのように、前夜迄の悪天候も、打って変ったスポーツ日和――

会旗を先頭に堂々たる分列行進の後、競技の幕は切っておとされた。紅白入り乱れての接戦あり婦人と児童混合の競技あり、又、来賓が唐突を爆笑させる珍プレーあり、溢れる親睦味のうちに、

段の上は持丸婦人会長

婦人の総力をいかんなく発揮して、午後四時、婦人会行事、本年度のスタートを飾る祭典の幕を閉じた。

競技の花形は、何といっても種目最後のタスキ争奪リレーで、千余の会員と数千の観衆の熱狂的な歓呼と声援の渦巻の中に、終始接戦を続け、遂に A班宝珠支部、B班倉石鉱支部が最後の難関を乗越えて優勝した。何しろ「男のタスキをかけるのだ」という意気ごみで、婦人会結成以来はじめての「体育祭」であったが、その感想を会長の持丸ハル子さんに聞いてみた。

婦人会長
持丸ハル子さん談

「はじめてのことでみんないっしょうけんめいでした。体育祭を思い立った目的は

❶母親の健康の増進
❷婦人会員お互いの親睦
❸婦人会の自覚を強めることでした。

月十日の理事会、五月十六日の幹部会に反映しました結果、大体次のようなみなさんの御協力を願いました。

◎わるかった点
準備に不分な所があった。賞品渡しに少しゴタついた。等旗がなかったためにコンザツした。

◎良かった点
閉会の時の全員行進が特によかった。

団結したら、女でもこんな大きな仕事ができる、ということがはっきりわかった。

仕事をみんなで分担したことがよかった。

会員お互いの気が和やかにそろった。

そして

❶「この熱をノガさず、どんどん婦人会活動に持っていこう」

❷「町ぜんたいの行和やかにそろった。

❸「行事だけでなく、小人数での共同学習を始めよう」

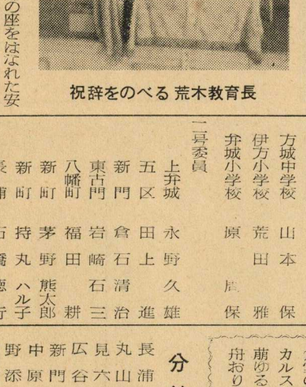
救い事を、これからは、支部活動に持っていこう」

〝母の日の行事〟
三菱礦主婦会

五月十二日、午前十時、協和会館において開かれたが、参加者は早朝より詰めかけ、定刻には一〇〇〇名を越す盛況。

会長挨拶、来賓祝辞、記念講演、映画鑑賞等、多彩の行事を展開したが、参加者の表情にも一日、主婦の座をはなれた安らぎとノビノビしたものが感ぜられ、最後に紅白のモチに母の日を祝して盛会終了した。

講師は理系田町助役（元児童相談所ム長）蔡味とユーモア溢れるなかに、育児を通して人生の深さをしみじみと述べられ聴衆に強い感銘をあたえた。


祝辞をのべる荒木教育長

と云うことを、申し合わせ、一方、この日「支部対抗リレー」に優勝した倉石炭鉱支部、宝珠支部の喜びは大きく、来年も又優勝して見せますよ、と大変な鼻息。宝珠支部では、もう来年の応援のケイコをしたとか。

郷土の産業振興目指して
方城町四Hクラブ結成さる

四月十八日午後二時方城町公民館において「四Hクラブ」の結成式が挙行された。

畑四Hクラブの会長として、数年来熱心に努力してきた香月国作君（食糧庁）が、初代会長に選ばれた。

この日、県の係員、飯塚農林事務所大庭技師などを迎え、地元から、岩崎農協組合長、同中村事務理事、芳野共済会長、葛原経済課長尾普及員、白石指導員らが参席した。

思えば長尾普及員の指導によって「彦浦四Hクラブ」が生れたのは、昭和二八年八月のことで、会員はわずか五人であった。

昭和二九年十二月は、これが「畑四Hクラブ」となり、会員は八人になった。

昭和三十二年は会員は三十八人（うち女子十人）になった。上弁城浄満寺、宝珠、丸山、迫と方城全体に広がり、教度強化委員会を経て、遂に「方城町四Hクラブ」の誕生を見るにいたった。

式のあと、大庭技師の講演につづいて、元気いっぱい会歌の練習を行い、産業研究、生活改善を目指して、青年学級の研究グループとも手を取り合って進むことになった。

香月初代会長の挨拶

食生活を改善しょう
保存食講習会
田川保健所　小田米栄養士指導のもとに

五月十六日、午後一時より、町役場婦人会館において、町婦人会員、農協婦人部員、及び女子青年団員、青年学級生を対象として、保存食の講習会が開催された。

実習の種目は、夏季の保存に適した、しかも、栄養に富める鰯の角煮、鉄火みそ、ぎせん豆、イリコのぎすけ煮等で、農繁期を目前に控えて、家事に作業される農家等においては、最も時期に適した〝思い立ち〟として歓迎された。

小田米栄養士さんのお話では、この保存食は農家だけでなく、一般の家庭に於ても、暇を見て作っておきいろんなナキ補に詰めておくと家庭生活の合理化に大いに役立つそうですからぜひ実行していきましょう。

さっそく実行
婦人会新町支部

五月二十五日、新町の婦人会支部では、先の「保存食講習会」をさっそく実行した。

会場の新町分館に加治支部長さんら二十五人の婦人会員が集り、持丸会長の熱心な姿も見えた。

材料のイリコ、鰯、小アジ、油など、共同購入で一軒当りが二十三円也。

試食したあと、みんなで別けて家に持ち帰り、御主人からも喜ばれた。ツクダニなど自分買って少ししかなく、これだと「安くて栄養あり、おいしくて、保存もきく」

方城町公民館
運営審議委員氏名

一号委員
方城小学校　山本保
伊方小学校　荒田雅
弁城小学校　原田尾

二号委員
上弁城　永野久雄
五区　田上進
新門　倉石清治
東古門　岩崎石三
八幡町　福田耕
新町　茅野熊太郎
持丸ハル子
長浦　芳賀
一区　石橋徳行
坂井ツマ子

三号委員
一区　赤井正文
後谷　松本兼夫
丸山　原田秀次郎
迫　白石照生
西古門　仲村治一郎

分館長氏名

西古門　石橋市蔵
中古門　仲村吉佐
仲村兼作
仲島芳積
武治
東古門　野添重雄
中原義雄
新門　倉石義雄
久保田健助
東古門　丸山原田正蔵
見六
広谷　芳野重雄
広石
新町　柳木温理
前村
矢久保
犬星
桑野実生
江田進
大助
森定金平

＝俳句＝

秋芳洞より青海島に遊ぶ（婦人会旅行）
香月　紫葉

食堂の河豚提灯を指さしてカルストを歩けばすでに下萌ゆる
舟おりてそこより山路落椿

七月社会教育日程表（主なもの）

成人
2日　広谷組樹作ごもり
5日　長浦〃〃
17日　公民館運営審議会
20日　分館役職員講習会
23日　子供会育成協議会
※　5日以降　巡回映画教室
※**文化**　14日方城ホントキゴス会吟行並びに指導句会

右側が小田米栄養士さん

婦人
8日　婦人会幹部会
12日　婦人学級指導者講習会（郡）
14日　第一班婦人学級（弁城小）
18日　第六班婦人学級（山の手）
21日　婦人会レク講習会（川幡町）
22日　第七班婦人学級（後谷）
24日　第四班婦人学級（畑）
25日　第八班婦人学級（矢久保）
26日　第三班婦人学級（宝珠）
28日　（未亡人会結成式）
29日　第一班婦人学級（久六）
30日　第五班婦人学級（中古門）

青年
13日　青年団本部研究会
中央青年学級（総会）
14日　青年団幹部会
青年学級（総会）
15日　青年学級（総会）
27・28日　青年団英彦山幹部講習会（郡）
30日　青年学級主事、講師協議会
※十六日以降週四支部常会

葬儀の改善
弔いは　金や物より
〃真心〃こめて

結婚式の改善につづいて、葬儀や法事、祭礼などの改善に進む部落がふえつゝあるようですが、次に野地部落（25人、組合長砂野吉広さん）の例を紹介します。（ほかに例がありましたら公民館に教えて下さい）

決議

一、弔酒は廃止とす
一、パン及び饅頭は廃止とす
一、内輪酒は式丸とす
一、献立は皿数三枚に制限す
右の事項は即日より実行の事
野地実行組合